



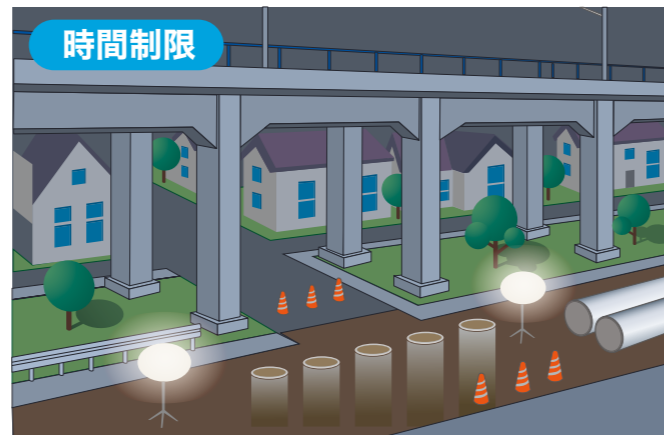
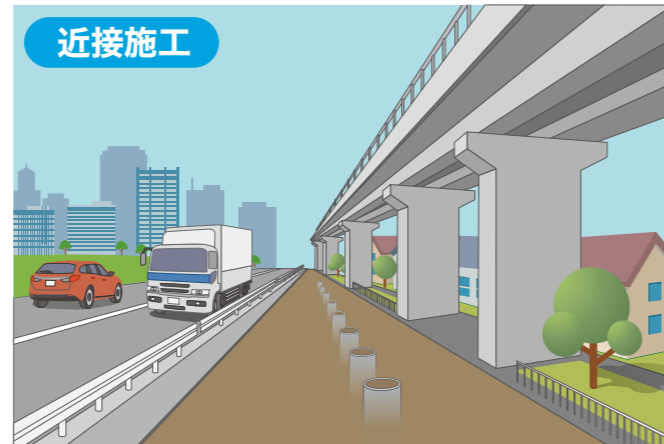
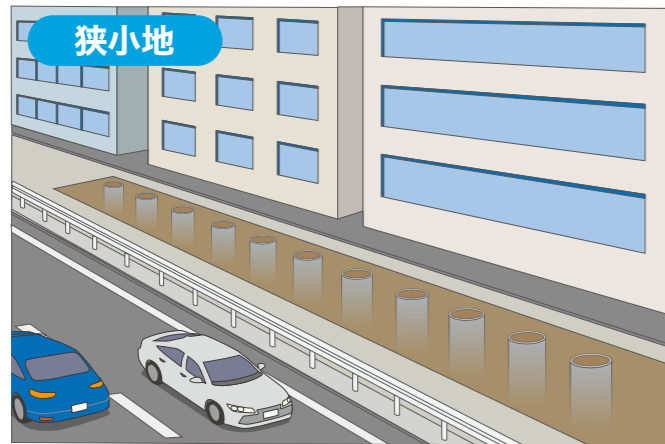
製造範囲(標準)

杭径 D (mm)	1000、1200、1500
板厚 t (mm)	杭径の1.1%以上
材質	SKK490

公的評価

(公財)鉄道総合技術研究所
受託業務報告書
回転圧入鋼管杭の支持力性能評価
2025年4月

こんなところでも **S-Pile®**
エスパイル



日本製鉄株式会社

〒100-8071 東京都千代田区丸の内2-6-1
Tel: 03-6867-4111 Fax: 03-6867-5607



東洋テクノ株式会社

〒150-0012 東京都渋谷区広尾5-4-12
Tel: 03-3444-2141 Fax: 03-3446-6481



丸泰土木株式会社

〒134-8631 東京都江戸川区北葛西3-5-17
Tel: 03-3689-4111 Fax: 03-3686-1800



⚠️ ご注意とお願い

- ※ 本資料に記載された技術情報は、製品の代表的な特性や性能を説明するものであり、「規格」の規定事項として明記したものを除き、保証を意味するものではありません。
- ※ 本資料に記載されている情報の誤った使用または不適切な使用等によって生じた損害につきましては責任を負いかねますので、ご了承ください。
- また、これらの情報は、今後予告なしに変更される場合がありますので、最新の情報については、担当部署にお問い合わせください。
- ※ 本資料に記載された内容の無断転載や複写はご遠慮ください。
- ※ 本資料に記載された製品または役務の名称は、当社および当社の関連会社の商標または登録商標、或いは、当社および当社の関連会社が使用を許諾された第三者の商標または登録商標です。その他の製品または役務の名称は、それぞれ保有者の商標または登録商標です。

S-Pile エスパイル®
K165_02_202509f

© 2024,2025 NIPPON STEEL CORPORATION 無断複写転載禁止

礫地盤対応回転圧入鋼管杭
S-Pile®
エスパイル



礫地盤対応回転圧入鋼管杭

S-Pile®

エスパイル

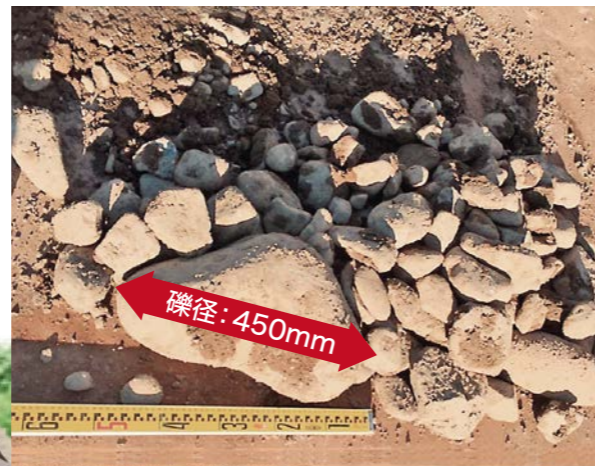
鋼管杭施工が難しかった礫地盤で適用可能な
新しい回転圧入鋼管杭工法

S-Pile® の3大メリット
エスパイル



1 回転圧入施工のみで礫地盤へ施工可能

施工可能な礫径は杭径の 1/3 が目安です。
試験施工では最大礫径 450mm での
施工実績があります。(杭径φ800)

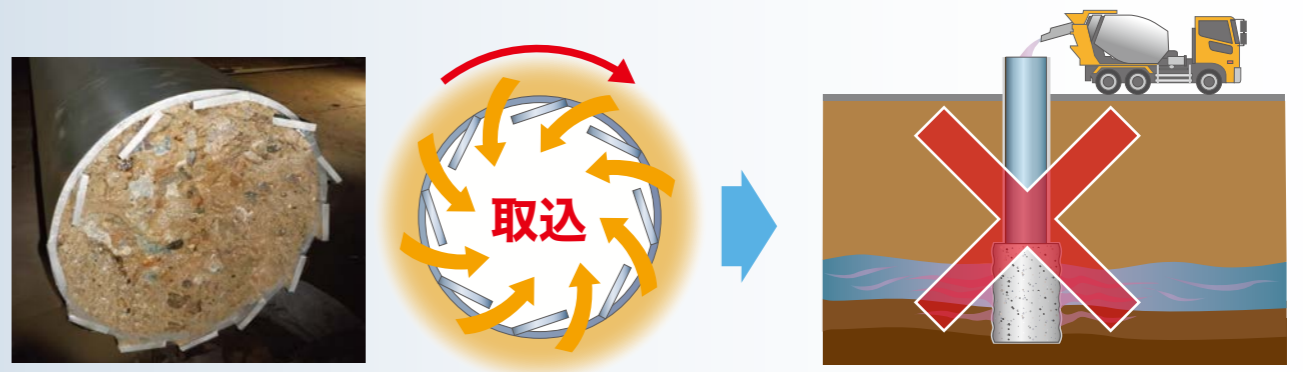


■先端傾斜ビット
回転方向を変えることで
礫を含む土砂の排出と
取込みをコントロール



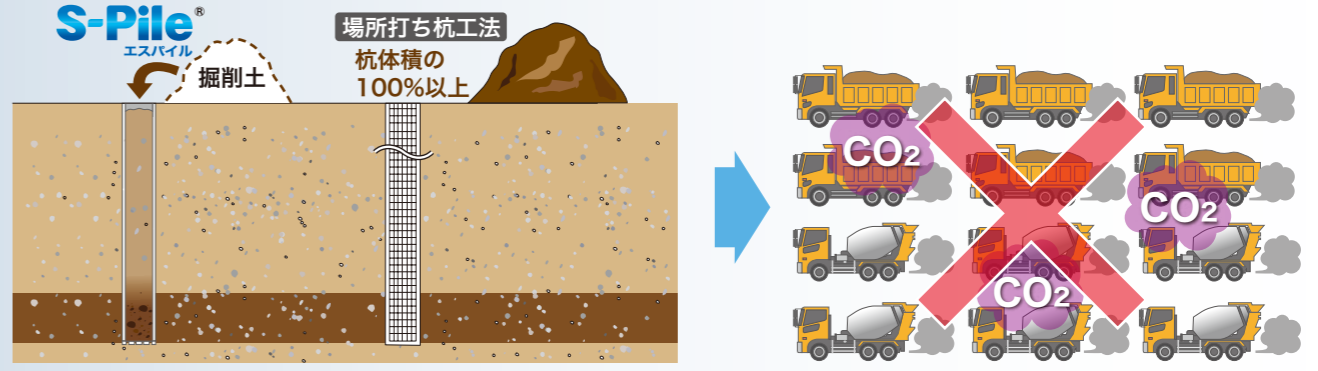
2 環境性の高いエコな工法

■セメントは使用しません。→セメントによる水質汚濁を防ぎます。



支持層地盤を管内に取り込んで固めることで支持力を確保します。

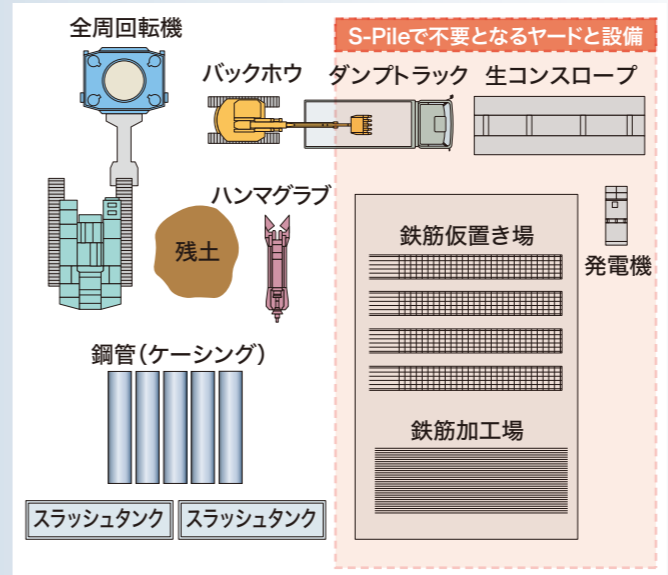
■施工車両を削減できます。→CO₂や施工コストを削減できます。



建設発生土を最低限に抑えます。

3 様々な施工制約に対応

■狭小地
施工スペースを省略できます。



■時間制約
限られた時間でも施工できます。

